

## 「放出傾向分析に基づくトリチウム放出の低減」

Jason Shin, KHNP, Wolsong NPP (2) (韓国)

Wolsong 第二原子力発電所には 3 号機と 4 号機がある。いずれも加圧型重水炉 (PHWR) であり、トリチウムを発生・放出している。

毎月の空気中トリチウム放出量の測定から、3 号機からの放出量が 4 号機からの放出量よりも多い状態が続いていることが分かった。

管理区域のトリチウム濃度測定データと設計空気流量の分析から、漏洩場所を特定することができた。

### 結論

- ・放射性物質の局所濃度の定期測定データと設計ベント流量を用いて、放射性物質の放出率を評価することができる。
- ・この方法は漏洩箇所の探索に有用であり、放出率の低減をもたらす。